

第119回技術講習会「騒音・振動苦情とその実例」開催報告

事業部会

第119回技術講習会「騒音・振動苦情とその実例」を、2020年1月29日（水）に中央大学後楽園キャンパス（東京都文京区）で開催しました。当日は、日本全国から合計41名の方に参加して頂きました。

各分野の専門講師によって、①「騒音・振動に関する法規制の概要」（（公社）騒音制御工学会：松島氏）、②「工場・建設作業騒音振動苦情の実例とその対応」（松戸市：桑原氏）、③「道路騒音振動苦情の実例とその対応」（（株）高速道路総合技術研究所：大蔵氏）、④「航空機騒音苦情の実例とその対応」（（一財）空港支援機構 航空環境研究センター：篠原氏）、⑤「低周波音苦情の実例とその対応」（法政大学：井上氏）、⑥「騒音・振動に関する住民苦情対応のノウハウ」（（株）オリエンタルコンサルタンツ：沖山氏）の講義を、それぞれ頂きました。講義の後に、講演に対する質問や普段業務で困っていることなどに対するQ&Aの時間を設けました。測定時の注意点や道路交通騒音の予測時の条件など計24件の質問が寄せられ、講師及び事業部会員が回答致しました。苦情対応について、担当されている皆様が、多くの疑問や困っていることを抱えていらっしゃる状況がよくわかりました。

受講者の皆様に記入頂いたアンケートでは、参考になる実例が多く、今後の業務に役に立つとの評価を多く頂きました。次年度も引続き本講習会と同様に、騒音・振動苦情に関する関連する講習会を開催する予定ですので、多くの方の参加をお願い申し上げます。



講習会会場の様子

以上